

都立小笠原高等学校 グランドデザイン

学校の教育目標

「世界遺産・小笠原諸島」の豊かで貴重な自然の中で生まれた生徒の健やかな成長と、地域の発展に貢献できる人間の育成を目指す。

- ①自主と自律 ②感謝と共存 ③礼儀と信頼

学校目標を達成するための基本方針

- ① 卒業時に**全ての生徒の進路実現**を目指す。
- ② **基礎・基本を定着させ、言語活動を充実させ思考力を育成する。**
- ③ **小規模・少人数学級の長所を生かしたきめ細やかな教育活動を実践する。**

生徒の現状と課題

- ① 小規模な学校であり、個々の生徒が個性を活かして活躍できる機会が多い。
- ② 小中高を通して所属集団の変化が少なく、自己の変革への動機付けを見つけにくい。
- ③ 学習面において、小集団における相対的な物差しで自らを図りがちであるが、自己肯定感は比較的高い。
- ④ 様々な大人に身近に触れる機会があるが、幅広い職業やキャリアモデルに触れる機会は乏しい。

本校の特徴と魅力	と	それを活かした取り組みと成果
①少人数教育		土曜講習・自学自習の場の充実 一人一人の能力の伸長 互いに深め合い、自己と他者を大切に する精神の育成
②地域に根ざした学校		小笠原村立小・中学校及び地域との連携 地域の学力向上及び文化的・体育的 活動の拠点としての役割 開かれた学校
③世界に誇れる自然環境		地球の未来を見据えた環境教育 自然に感謝し、共存する豊かな心
④特異な歴史文化を持つ地域		地域の人材を活かした教育活動 奉仕活動や進路後援会を通じた職業観・ 勤労観の育成 多様なキャリアプランの提供



目指すべき生徒の将来像

豊かな自然・文化を背景とした望ましい集団活動を展開することにより、
規範意識と自律性、道徳性を備え、他者への配慮や思いやりの心を持ったグローバル人材を育成する

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取り組み

すべての教科等を、3つの柱で再整理 ①知識及び技能、 ②思考力、判断力、表現力 ③学びに向かう力、人間性	①社会で求められる資質・能力をすべての生徒に育む。 ②生涯にわたって探求を深める未来の創り手として送り出す。 ③主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を継続的に 行う。
---	---



学校におけるカリキュラム・マネジメント

- 教科等の目標や内容を見直し、教科横断的な学習を充実させる。学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等や現代的な諸課題に対応するための資質・能力の育成につながる教育課程を編成する。
- 学校全体として、教育内容や時間の適切な配分、人的・物的な体制の確保をはかり、小規模校・進路多様校として最もふさわしい本校の教育課程の編成を行う。



教科・科目構成の見直しのポイント

- ①大学進学者希望者に対応する科目や特色ある科目の設置
- ②教科の配置
・情報科科目を第1学年に置く